

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	ベンチャービジネス特論		
英文授業科目名	Advanced Lectures on Venture Business		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電気通信学研究科-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻 情報工学専攻 電子工学専攻 量子・物質工学専攻 知能機械工学専攻 システム工学専攻 人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	内田 和男		
居室	西3-405		

公開E-Mail	授業関連Webページ
uchida@ee.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>今、日本は大きな変革期を迎えている。大企業は、その大きさゆえに急激な変化に付いていけず、より小さいが変化に即応できるようなベンチャー企業が活躍する新しい産業構造へ変わるための産みの苦しみを味わっているように見える。米国では、ベンチャーマインドを持った優秀な学生が卒業後率先してベンチャー企業に入ったり、自身で企業を起こすことで社会が活性化され、新しい産業が次々と生み出されているが、日本では学生の就職希望先は依然として大企業が中心となっている。</p> <p>この授業では、ベンチャーマインドを持って失敗を恐れず新しいことに果敢に挑戦していく積極性が今の時代いかに重要であるかを知ってもらうことを目標としている。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>特になし。本学には通常の講義の中に、ビジネスに関する授業がほとんど開講されていないことから、本特論の中で、ビジネスに関するごく基礎的な知識を身に付けてもらうことを期待している。</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>特になし。</p>
--

<p>【教科書等】</p> <p>なし。毎回資料等を配布する。</p>
--

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

本授業では、講義の中に、社会科学系大学の教官、学外の実務経験者などを招聘して、講演をお願いし、系統的にベンチャービジネスの実態が分かり、起業家精神を涵養できるような内容となっている。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポートと出席点で評価を行う。レポートでは、内容の理解度、文章の構成力等を評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けていないが、いつでもメールでアポイントメントを取って相談にきてほしい。

【学生へのメッセージ】

IS研究科の学生の聴講も歓迎する。

【その他】